

標準化会議事業計画

1. 概要

標準化会議は、会員ニーズに基づいた規格づくりを進めている。国内標準化活動では、JIS、JASO 及び JSMA 規格の制定及び改正原案作業に取り組む。国際標準化活動では、ISO/TC227 ばねの規格開発を継続実施する。具体的には、イタリアからの提案された引張コイルばね試験法の FDIS（最終国際規格案）及び中国から提案されたねじりコイルばね試験法の DIS（国際規格案）の照会段階への移行を推進する。

11月10日及び11日に中国の杭州で開催される第18回 ISO/TC227 ばね国際会議に参加し、ISO 規格化に向けての原案審議を行う予定である。

2. 標準化会議開催計画

第1回標準化会議は6月、第2回は9月、第3回は2023年2月に開催予定である。ISO/TC227 ばね国際規格開発、各部会担当の JSMA、JIS 及び JASO 規格開発の活動計画について審議予定である。

3. 活動の詳細

(1) 国内規格関係

① JIS 規格関係

2022年度は、引き続き B2706「皿ばね」の改正原案作成作業を進める。

また、日本規格協会が審議団体の ISO/TC10 製品技術文書 関係の JIS 素案作成準備委員、JIS 素案作成委員会及び JIS ハンドブック「機械要素（ねじを除く）」編集委員会に参加する。

② JASO 規格関係

自動車技術会規格委員会要素部会の活動に例年どおり参加する。

③ JSMA 規格関係

標準化会議の4部会が共に年間1から2規格の改正原案作成作業を行う。

(2) ISO 規格関係

① ISO/TC227 ばね関連の国際標準化活動

1) 第18回 ISO/TC227 国際会議

11月10日及び11日、中国の杭州で開催予定の国際会議に参加し、以下の議案審議をする予定。

- ・イタリア提案の引張コイルばね試験法
- ・中国提案のねじりコイルばね試験法

2) ISO/TC227 ばね 国内委員会

国際会議への対応のため、標準化会議と同日に国内委員会を開催予定である。

② 政府制度の活用

以下の政府制度を活用し、ばねの国際標準化活動の推進を図る。

1) 国際幹事国際会議派遣事業

上記 第18回 ISO/TC227 国際会議対応